



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 テクノホライゾン株式会社
 コード番号 6629 URL <https://www.technohorizon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 野村 拓伸
 (氏名) 加藤 靖博
 TEL 052-823-8551

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	23,475	47.9	315	66.4	430	53.7	23	
2021年3月期第3四半期	15,876	6.7	939	16.5	930	14.7	836	9.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 115百万円 (85.5%) 2021年3月期第3四半期 797百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	1.74	
2021年3月期第3四半期	62.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	31,863	9,091	28.5
2021年3月期	28,973	9,335	32.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,091百万円 2021年3月期 9,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		20.00	20.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	37.8	2,000	17.4	2,000	21.1	1,500	30.1	111.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	21,063,240 株	2021年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	7,586,231 株	2021年3月期	7,586,081 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	13,477,082 株	2021年3月期3Q	13,477,159 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「教育」「安全・生活」「医療」「FA」の重点4市場に対し、「映像&IT」と「ロボティクス」により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は23,475百万円（前年同四半期比47.9%増）、営業利益は315百万円（前年同四半期比66.4%減）、経常利益は430百万円（前年同四半期比53.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は23百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益836百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更を行い、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 映像&IT事業

主力である教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売は、国内市場では前期の需要増の反動や競合参入による販売価格の低下により、想定を下回る状況が続きました。欧米市場ではコンテナ船の輸送や荷揚げに遅延が発生した影響が一部でありましたが、堅調に推移しました。業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）においては、堅調な需要に対して半導体等電子部品の調達難が継続していることにより、予想を下回る結果となりました。このほかに連結子会社が増加したことが売上の伸長に貢献しました。

営業損益につきましては、売上原価が売上高伸長や部品価格の高騰により増加したほか、成長を見据えた積極的な投資等により販売費及び一般管理費が増加いたしました。

1) 経常的な経費：連結の範囲の変更や積極採用による人員増加及び拠点整備による固定費の増加、並びにグループ入りした子会社に係るのれん償却の増加

2) 臨時的な経費：当第3四半期連結累計期間に実施した2件のM&Aの手数料（216百万円）

これらの結果、映像&IT事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は18,378百万円（前年同四半期比48.3%増）、営業利益は160百万円（前年同四半期比80.3%減）となりました。

② ロボティクス事業

主力であるFA関連機器は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響からいち早く回復した中国市場を中心に、労働力不足から来る自動化・省力化ニーズが高く、販売強化に注力したことにより売上が伸長しました。国内市場は、期初から続くCOVID-19による需要減や半導体等電子部品の調達難が影響して想定を下回りました。

営業損益につきましては、当第3四半期連結累計期間に実施したM&Aの手数料を115百万円計上したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

これらの結果、ロボティクス事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は5,097百万円（前年同四半期比46.4%増）、営業利益は137百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

*変更した事業セグメントの説明

「映像&IT事業」

映像機器（光学技術、および画像処理技術）、IT機器・サービス（各種センサーを組み込んだIoT技術、およびクラウドサービス）、さらにこれらを組み合わせた各種製品・サービス・ソリューション※を提供します。

※ 電子黒板、書画カメラ、セキュリティカメラ、車載用カメラ、経営管理ソフトウェア、画像処理ソフトウェア、他クラウドサービスなど

「ロボティクス事業」

ロボット工学と長年培ってきたノウハウを駆使して自動化、省力化、省人化、最適化を実現し、人々を補助・支援するロボット制御機器を設計・製造・販売します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は21,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加いたしました。これは主に連結の範囲の変更や在庫確保及び半導体等電子部品の調達難に伴い売上の想定を下回ったことにより商品及び製品が2,414百万円、原材料及び貯蔵品が1,156百万円、仕掛品が883百万円増加した一方、主に在庫確保や連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出により現金及び預金が4,202百万円減少したこと、その他には受取手形及び売掛金が540百万円減少したことによるものであります。固定資産は10,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,722百万円増加いたしました。これは主に連結の範囲の変更により有形固定資産が715百万円、無形固定資産が1,967百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は31,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,890百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は17,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,079百万円増加いたしました。これは主に連結の範囲の変更により、支払手形及び買掛金が1,397百万円、短期借入金が346百万円増加したことによるものであります。固定負債は5,575百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が720百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は22,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,134百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が195百万円増加し、一方で利益剰余金が383百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.5%（前連結会計年度末は32.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,284,249	4,081,339
受取手形及び売掛金	7,473,487	6,932,497
電子記録債権	622,071	1,131,745
商品及び製品	1,198,951	3,613,126
仕掛品	690,552	1,573,824
原材料及び貯蔵品	1,589,283	2,745,363
その他	1,549,516	1,501,116
貸倒引当金	△29,864	△32,982
流動資産合計	21,378,248	21,546,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	883,487	1,002,587
土地	2,473,302	2,558,876
その他(純額)	627,517	1,138,452
有形固定資産合計	3,984,306	4,699,916
無形固定資産		
のれん	1,584,193	3,455,486
その他	447,575	543,681
無形固定資産合計	2,031,768	3,999,167
投資その他の資産		
その他	1,617,790	1,657,062
貸倒引当金	△38,333	△38,333
投資その他の資産合計	1,579,456	1,618,729
固定資産合計	7,595,532	10,317,813
資産合計	28,973,780	31,863,845
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,301,988	4,699,525
短期借入金	9,436,922	9,783,855
未払法人税等	419,384	298,550
賞与引当金	246,044	204,617
その他	1,712,727	2,210,429
流動負債合計	15,117,068	17,196,979
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	3,914,022	4,634,733
退職給付に係る負債	279,545	119,704
その他	277,445	771,074
固定負債合計	4,521,013	5,575,511
負債合計	19,638,082	22,772,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,486,269
利益剰余金	4,858,667	4,475,305
自己株式	△1,917,421	△1,917,642
株主資本合計	8,927,515	8,543,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,178	25,815
為替換算調整勘定	326,299	521,604
退職給付に係る調整累計額	51,704	—
その他の包括利益累計額合計	408,182	547,420
純資産合計	9,335,698	9,091,354
負債純資産合計	28,973,780	31,863,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	15,876,922	23,475,734
売上原価	11,075,561	17,038,362
売上総利益	4,801,361	6,437,371
販売費及び一般管理費	3,861,578	6,121,472
営業利益	939,782	315,899
営業外収益		
受取利息	7,039	1,790
受取配当金	1,441	37,464
為替差益	—	64,711
持分法による投資利益	15,314	—
不動産賃貸料	9,711	5,711
助成金収入	—	33,212
その他	39,705	45,397
営業外収益合計	73,213	188,286
営業外費用		
支払利息	38,305	63,442
為替差損	24,802	—
持分法による投資損失	—	1,381
その他	19,464	9,015
営業外費用合計	82,572	73,839
経常利益	930,423	430,346
特別利益		
固定資産売却益	59,189	188
投資有価証券売却益	—	6,738
出資金売却益	—	14,675
移転補償金	89,195	—
特別利益合計	148,385	21,602
特別損失		
固定資産売却損	—	2,383
固定資産除却損	2,996	8,858
投資有価証券売却損	—	1,331
その他	164	2,192
特別損失合計	3,161	14,765
税金等調整前四半期純利益	1,075,647	437,182
法人税等	239,005	460,656
四半期純利益又は四半期純損失(△)	836,642	△23,473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	836,642	△23,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	836,642	△23,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,279	△4,362
為替換算調整勘定	△51,451	207,192
退職給付に係る調整額	△1,929	△51,704
持分法適用会社に対する持分相当額	△476	△11,886
その他の包括利益合計	△39,578	139,238
四半期包括利益	797,064	115,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,064	115,764

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、2021年5月12日付でPACIFIC TECH PTE. LTD.、PACTECH MSP PTE. LTD.及びPACIFIC INTECH DISTRIBUTION SDN. BHD.の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、2021年6月30日をみなし取得日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社ブルービジョンは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度において非連結子会社であったESCO Audio Visual Sdn. Bhd.及びESCO Audio Visual Pte. Ltd.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当しておりませんが、2021年9月10日付でアポロ精工株式会社の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、2021年9月30日をみなし取得日としたため、第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

特定子会社の異動には該当しておりませんが、2021年6月30日付で株式を取得した株式会社市川ソフトラボラトリーは重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、時価算定会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,394,463	3,482,458	15,876,922	—	15,876,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182,870	956,505	1,139,376	△1,139,376	—
計	12,577,334	4,438,963	17,016,298	△1,139,376	15,876,922
セグメント利益	816,602	112,025	928,627	11,154	939,782

- (注) 1. セグメント利益の調整額11,154千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,378,613	5,097,120	23,475,734	—	23,475,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,378,613	5,097,120	23,475,734	—	23,475,734
セグメント利益	160,700	137,529	298,230	17,668	315,899

- (注) 1. セグメント利益の調整額17,668千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「映像&IT事業」セグメントにおいて、2021年6月30日付で株式を取得した株式会社市川ソフトラボラトリーは重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが440,594千円発生しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「光学事業」と「電子事業」から「映像&IT事業」と「ロボティクス事業」に変更いたしました。

時代とともに変化する製品や技術領域、さらには2021年4月1日付の4社統合に伴う事業戦略や将来の技術発展をよりの確に、現実的に即した管理区分とするためです。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。